

し

支援とは 心にかけても 手はかけぬ

Keyword: 支援 (指導), 環境整備, 遊び



“心にかけても 手をかけぬ”とは子どもの作品に教師が手を入れることへの指弾です。私は、過不足のない造形環境の保障こそが質の高い支援と考えています。子どもたちの表現に手を出すことなどもってのほかです。「自分のはだめだから先生が直した」等々のマイナス感情を抱かせるだけです。

「心にかける」とは「環境が人をつくる。その環境は人がつくる」の文脈の具体化です。子どもの実態を見極め「適切な造形環境が準備されれば子どもたちはその環境の中で自ずと多様な活動を展開しその過程で自ら育つ」とした仙田満氏（Page 18）の知見は同感至極です。

